

レジデンシャル事業（Noism Company Niigata）評価書

【期間】 評価期間はNoismのシーズン（秋～夏）とする ※19thシーズン：R4年9月～R5年8月

【評価】 A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）

B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）

C：要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

※18thシーズン（市による評価）と同じ

事業・活動	指標（アウトカム発現の裏付）	19th実績	自己評価	財団・市・外部有識者意見
文化度向上系 ・Noism公演（市内） ・Noism公演（市外） ・Noism公演映像配信 ・柳都会（対談企画） ・他団体依頼公演等 ・ダンスカンパニー運営 ・Noism2 他 【アウトカム(最終)】 「芸術文化の継承・発展・創造・発信・交流」 が盛んに行われている	1：Noism0,1,2新潟公演企画数【3回以上/年】	3企画	B	【財団】 19thシーズンは「Der Wandererーさすらい人」をスタジオB、「領域」「Noism2定期公演+Noism1メンバー振付公演」を劇場で開催した。指標8は公演解説を伴うアフタートークを振付家を招く等して各公演で複数回開催し「どんな風に踊りを作っているかを知れて知識が深まった」等の声がアンケートに寄せられたためA評価とした。指標9の他団体との連携は東京都等が主催したSaLaD音楽祭、公益社団法人日本バレエ協会が主催した全国合同バレエの夕べ2023等に出演、また新潟東高校から依頼を受け同高校向けの貸し切り公演を開催（来場者830名）し指標を上回る5回のためA評価とした。全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成している。指標8・9は要求水準を上回って実施している。 なお、指標5は、レジデンシャル制度目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」の成果を図る有効な指標であり、一部公演分の指標のみの計測となっている点については、今後確実に計測できるように改善をお願いしたい。
	2：Noism0,1,2新潟公演の来場者数【3,235人以上/年】	3,299人	B	
	3：Noism0,1,2新潟公演の満足度【95%以上】	96.5%	B	
	4：Noism0,1,2県外公演企画数【2回以上/年】	2企画	B	
	5：Noism0,1,2新潟&県外公演の新規来場者率【10%以上】	26% ※ 県外1企画分のみの計測に付、参考値	---	
	6：柳都会実施数【2回以上/年】	2回	B	
	7：金森穰氏（Noism芸術総監督）以外の振付家の招聘【1回以上/年】	1回	B	
	8：レクチャー系講座実施【3回以上/年】 ※公演時のアフタートークにおける公演解説を含む	8回	A	
	9：他団体との連携企画数（共催・受託等）【3回以上/年】	5回	A	
社会包摂系 ・他団体依頼公演等（再掲） ・アウトリーチ ・ワークショップ&オープンクラス 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	10：小中学校向けアウトリーチ実施数【10回以上/年】	22回	A	【財団】 地域活動部門を創設して最初のシーズン。市内小学校から募集をしたアウトリーチは非常に好評で指標の倍以上の22回（参加数は2,407名）を数えたため指標10はA評価とした。ワークショップも子育て施設等から多くの依頼があり、指標の5倍を超える17回のため指標11はA評価とした。アウトリーチでは子供が参加できる体験コーナーを設け多くの子供達が積極的に参加、98%と非常に高い満足度であり指標12はA評価とした。 【市】 すべての指標で大幅に要求水準を超えている。アウトリーチやワークショップの回数増が職員やダンサー等に過度な負担とならないよう、引き続き配慮いただきたい。
	11：ワークショップ実施数【3回以上/年】	17回	A	
	12：アウトリーチ参加者満足度【95%以上】	98%	A	
生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	13：スクール実施数【2企画以上/年】	2企画	B	【財団】 スクールは「サマースクール」「ワンデイスクール」、オープンクラスは「バレエ」「レパートリー」等を実施した。いずれも年齢・対象（初心者、経験者）の異なる様々なクラスを用意、幅広い受講生にきめ細やかに対応し、指標15の満足度は100%と非常に高くA評価とした。Noismの活動を資金面で支援する活動支援会員（公演チケットの割引等の対価性あり）は100名を超えているが、その半数超が市民であり指標値を2割近く上回っていることから指標17はA評価とした。対価性のない寄付会員も指標値を2割ほど上回っており指標18もA評価とした。社会包摂系事業と合わせてC評価はなく、全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成しており、半数近くの指標がA評価となっている。
	14：オープンクラス実施数【3企画以上/年】 ※一般市民向け（バレエ・からだ大人・からだ子供・レパートリー等）	3企画	B	
	15：オープンクラス参加者満足度【95%以上】	100%	A	
	16：活動支援会員数【103人以上/年】	109人	B	

生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人(老若男女・障がい者等)が生きやすいまち・社会」になっている	17: 16のうち、市内在住者数【48人以上/年】	57人	A	
	18: 寄付会員数【21人以上/年】	26人	A	
	19: 18のうち、市内在住者数【11人以上/年】	11人	B	
文化度向上系 同上 【アウトカム(最終)】 芸術文化が「まちづくり(観光・国際交流・経済等)」に寄与している	【再掲】 4: Noism0,1,2県外公演数【2回以上/年】	2回	B	【財団】 コロナ禍の影響が未だ残る中、指標20は指標値を5%以上も上回ったためA評価とした。全体としてC評価はなく、【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成している。新潟公演の市外者来場率は評価指標の1.5倍となっている。
	【再掲】 8: 他団体との連携企画数(共催・受託等)【3回以上/年】	5回	A	
	20: 新潟公演の市外者来場率【10%以上】	16.8%	A	

総合所見		
財団(自己評価)	新潟市(意見)	外部有識者(意見)
Noism Company Niigataとして、国際活動部門と地域活動部門を新設し、体制を一新した最初のシーズンとなった。 国際活動部門は、一人ひとりがソロで立てるだけの力量を有した個人の集合としての集団をめざした新作『Der Wanderer-さすらい人』は“カンパニーのこれからを期待させる分岐点に相応しい作品”、ダンスカンパニーカレイドスコープを率いる二見一幸氏を迎えての「領域」は“静と動の巧みな表現、かつ根底で呼応しあう2作品”と評され、ともに好評を博した。黒部シター2023春(富山県)での野外公演、ここ数年共演を重ねる東京都交響楽団との公演など各種活動を行った。 地域活動部門は、各所からの依頼に応じて今までにない回数活動を行った。ワークショップは子供だけでなく、視覚・聴覚・知的など様々な障がいのある方を対象とし、障がい者向けワークショップは合計で63名の方が参加した。スクールは受講生同士が交流し刺激し合う場となっている。ただ予算や人員増が見込めないなか、活動を広げていくのも限界があり、現状の体制のまま継続していく難しさも感じている。 活動支援会員による支援金は約440万円、寄付会員による寄付金は約70万円にのぼり市民等に支持される舞踊団の証左となっている。	レジデンシャル制度の目標①「りゅーとびあ及び新潟市のプレゼンスの向上」については、新潟公演の鑑賞者満足度をはじめ、新潟公演の市外者来場率など複数の指標で要求水準に達しており、質の高い舞台芸術作品の創造・発信を通して目標①を実践できていると評価する。 同目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」に関連して、アウトリーチやワークショップ、スクール及びオープンクラス、レクチャー系講座実施などで要求水準を上回って実施している。 また、小中学生向けのアウトリーチは、質の高いパフォーマンスを通じて舞台芸術の素晴らしさを普及するとともに、将来的な新たな鑑賞者を開拓する側面をもっており、演者と鑑賞者の相互の感性が行き交う場として評価したい。 特に、新潟東高校からの依頼について、柔軟に対応して貸切公演を行い、りゅーとびあやNoismに触れる機会が少ないと思われる高校生に向けて鑑賞機会を提供したことは、アーティストが本市に居住するレジデンシャルならではの交流・連携であり、高く評価する。 指標5については、個別意見欄と重複するが本目標②の成果を図る有効な指標であることから、確実に計測できるよう改善を求められたい。 同目標③「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取組みの波及」については、これまでの国内他館との協力関係の構築や舞台芸術に携わる本市のクリエイティブ人材等の活用に取り組んできた成果として、県外公演企画数や他団体との連携企画数などが要求水準に達していることを評価する。 今後も、文化事業における限られた経営資源の中で、りゅーとびあ事業全体でのバランスを図りながら、持続可能な経営を目指していかれたい。	



総合評価(事業評価)
レジデンシャル制度目標①・方針① レジデンシャル制度目標②・方針② レジデンシャル制度目標③・方針③